

脈々 ^{スピリッツ} 高蔵 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

四たび「一に人物 二に伎倆」

試験勉強は、いかに多くの問題を、いかに正しく、いかに速く解くかという条件反射を人の中に形づくる。

しかし、人間や人生に関わる問題は、机上では片づかず、即問即答など望むべくもない。自分を賭け、自らの人生をかけて探求されていかねばならない。

誠実さとは、問い続けることであり、自らを耕し続けることである。

人智の進歩は無限である。「知る」事多きを加ふるに従ひ、「知らざる」事益々多きを感じる。
(「藪椿」1-5)